

# 平成 2 1 年度 事業 報告 書

自 平成 2 1 年 4 月 1 日

至 平成 2 2 年 3 月 3 1 日

## I. 事業の状況

### 1. 大学生への奨学金支給事業

#### (1) 大学貸与奨学生の採用・奨学金支給

平成 21 年度奨学生は、平成 21 年 6 月に開催された奨学生選考委員会の選考を経て、106 名（内 6 名辞退）を採用した。男性 42 名、女性 64 名。国立 39 名、公立 9 名、私立 58 名。期中に貸与した奨学生総数は 384 名、貸与奨学金は合計 1 億 8,296 万円である（別表 1）。

なお、昭和 40 年第 1 期奨学生採用以来、平成 21 年度までの採用貸与者数の累計は 2,424 名（別表 2）、貸与奨学金の累計は 24 億円となる。（別表 3）

#### (2) 大学給付奨学生の採用・奨学金給付

平成 20 年度に予約採用した 64 名のうち、50 名が平成 21 年 4 月に当財団指定大学・学部への入学を果たしたので、大学給付奨学生として正式採用になった。給付総額は 2,970 万円。男性 19 名、女性 31 名。国立が 40 名、私立が 10 名。\*1 名が前期だけで中退

—省略—

平成 22 年度については、給付奨学生の募集を平成 21 年 6 月に行い、奨学生選考小委員会の書類選考、事務局面接を経て計 55 名が内定した。応募資格は、当財団が指定する公立高等学校の 3 年生で成績優秀かつ学費の援助が必要と認められる者（但し入学学部は理・工学系、医・薬学系を除く）。

当該内定者のうち、当財団指定の大学学部へ平成 22 年 4 月に入学した者に対し、最長 4 年間、月額 5 万円の奨学金を支給する予定であり、最終的に入学した者（採用者）は 39 名となった。（男性 13 名、女性 26 名；国公立 28 名、私立 11 名）。

なお、採用内定していたが指定大学への入学を果たせなかった 12 名には、一浪として平成 23 年度に指定大学に入学すれば、大学給付奨学生として正式採用される。\*4 名は辞退

#### (3) 奨学生留学奨励金の給付

奨学生選考小委員会において、下記の 3 名を留学奨励金受給者に選考した。当奨励金は学校納付金、渡航費等の範囲で 100 万円を限度に提供するものである。なお平成 21 年度中の支給者は、過去に採用された 3 名に対し総額 161 万円を支給した。

—省略—

#### (4) 大学貸与奨学生の「成績優秀による奨学金返還免除者」選考

平成 22 年 3 月卒業予定者のうち、4 年前期までの成績表、生活状況報告書、大学推薦書を基に平成 21 年 12 月の選考小委員会による書類審査の上、面接を経て、理事長により返還免除者 20 名を選考した。(男性 9 名、女性 11 名)

返還免除総額(固定資産減少分)は、2,784 万円となった。

—省略—

## 2、大学院生への奨学金給付事業

#### (1) 大学院奨学生(国内)の採用・奨学金給付

奨学生は電通育英会が指定した大学院からの推薦、奨学生選考委員会での選考、事務局面接を経て、理事長が採用を決定した。1 人当りの給付金額は月額 8 万円で、期中の給付奨学金総額は 4,656 万円である。平成 21 年度採用者は以下の 24 名である。

(男性 8 名、女性 16 名。 国公立 14 名、私立 10 名)。

—省略—

なお、平成 22 年度については、大学院奨学生(国内)の採用方法を在学採用方式から学部時予約採用方式に変更したため、平成 21 年 12 月と平成 22 年 3 月の奨学生選考小委員会にて、25 名の大学院奨学生(国内)の予約採用を行なった。当該内定者のうち、当財団指定の大学院に平成 22 年 4 月に進学した者に対し、奨学金を給付する。

#### (2) 大学院奨学生(外国人留学生)の採用・奨学金給付

奨学生は電通育英会が指定した大学院からの推薦、奨学生選考委員会、面接を経て、理事長が採用を決定した。1 人当りの給付金額は月額 10 万円で、期中の給付奨学金総額は 2,280 万円である。平成 21 年度採用者は以下の 12 名である。

(男性 4 名、女性 8 名；中国 9 名、韓国 2 名、タイ 1 名)。

—省略—

なお、平成 22 年度については、大学院奨学生(留学生)の採用方法を国内大学院在学採用方式から海外大学現地予約採用方式に変更したため、平成 22 年 3 月の奨学生選考小委員会にて、2 名の大学院奨学生(留学生)の予約採用を行なった。当該内定者のうち、国内大学院に平成 22 年 4 月に進学した者に対し、最長 3 年間、月額 16 万円の奨学金を給付する。

### 3、奨学生の研修・懇親会事業<大学生/大学院生奨学金関連支出>

#### (1) 奨学生(大学生)の集いの実施

大学貸与奨学生を対象に「奨学生の集い」を開催した。本会は大学生の研修と相互交流を目的としたものだが、奨学生と財団役員、選考委員、事務局との交流の場ともなっている。「集い」の前半は講演会、後半が懇親会の2部構成となっている。東京・大阪2地区で開催し、大学関係者、OB・OGも参加し、出席者合計は212名となった。

<東京地区> 平成21年11月15日(日) ベルサール汐留ホール

講演「自分らしいキャリアを切り開く」

慶応大学大学院教授 高橋俊介氏

<大阪地区> 平成21年11月8日(日) 電通関西支社大ホール

講演「キャリアデザインの考え方―節目だけデザインして、あとはドリフトで勢いに乗る」

神戸大学大学院教授 金井壽宏氏

#### (2) 大学院生研修会の実施

大学院生に対しては夏期及び冬期の研修会を実施した。この研修会は大学院奨学生(国内/留学大学院生同時開催)の研修と懇親を目的とするもので、研究発表会、外部講師の講演、懇親会の構成となっている。夏期は68名、冬期は67名の奨学生が参加し、研究発表会での質疑、グループ討論等の中で、奨学生相互の研鑽と親睦が図られた。

<夏期セミナー> 平成21年8月8-9日 クロスウェーブ幕張 研究経過報告者 18名

講演「将来ビジョンの描き方―実りある社会人生活をどう創っていくか」

我究館会長 杉村太郎氏

<冬期セミナー> 平成21年12月6日 電通関西支社 大ホール 研究経過報告者 12名

講演「大学院の歩き方～大学の先生になれるかな?とと思っている普通の人達へ～」

同志社大学 浦坂純子准教授

#### (3) 大学給付奨学生対象の研修会の実施

大学給付奨学生の一期生47名が参加して、平成21年9月に研修会を、東京の日本青年館にて1泊2日で実施した。研修目的は、ロジカルコミュニケーション・スキルの向上とプレゼンテーション・スキルの付与及び奨学生間の懇親とした。

#### (4) 修了式の実施

平成22年3月修了予定の大学院奨学生(国内・留学)40名、及び平成22年3月卒業予定の大学貸与奨学生のうち「成績優秀による返還免除者」20名に対して、その学業研鑽と今後の活躍を祝して、平成22年3月に品川ストリングスホテル東京にて修了式を開催し、選考委員、大学関係者、他の奨学財団等が出席した。

## 4、その他事業

### (1) 「IKUEI NEWS」の発行<会報費支出>

財団と奨学生、あるいは奨学生相互のコミュニケーション媒体として、また奨学生への有益な情報提供を目的に、会報「IKUEI NEWS」を年間4回(4月、7月、10月、1月)発行した。奨学生(貸与者、返還者)、大学関係(学長室、学生部)に加え、全国の図書館、教育研究機関にも向けて企画の充実を目指した。

(各号3,500部配布)

	発行月	特集テーマ(大学生が身につけるべき力)	取材大学
Vol. 46	平成21年4月	チームワークとリーダーシップ	新潟大学他
Vol. 47	同 7月	ジェネリック・スキル	山形大学他
Vol. 48	同 10月	大学生研究フォーラム2009	---
Vol. 49	平成22年1月	コミュニケーション力	慶應義塾大学他

### (2) 大学生研究フォーラムの開催<調査研究支出>

大学生研究の深化と課題発見のため、京都大学の高等教育研究開発推進センターと共催で平成21年7月に京都大学時計台記念館にて、教育学・心理学・青年若者論・労務研究等の教員及び学生、研究者300名余の参加のもとシンポジウムを開催した。シンポジウムは、「大学生の何が成長しているか、その中身を考える」をテーマに基調講演、パネルディスカッション、分科会、情報交換会の構成で行われた。

### (3) 貸与金の返還業務<奨学金返還収入>

貸与奨学金の返還は、返還促進に努力を重ねた結果極めて順調で、平成21年度は1億3,437万円の返還があった。なお貸倒れ処理は5件で2,063,000円を計上した。返還が開始された昭和43年以降、今期末までに返還された奨学金の総額(死亡免除等を含む)は10億8,185万円となる。また、今期末における返還免除制度適用後の差引貸与額は、12億514万円となった。

#### (別表 1) 平成21年度貸与奨学金支給者

平成21年度貸与奨学生総数:384名、貸与奨学金総額:1億8,296万円

—省略—

(別表 2)

## 貸与奨学生採用状況

期	採用年度	採用		貸与人員	途中		
		人員	辞退者		辞退者	退学者	
1	昭和 40	15		15		1	
2	41	15		15			
3	42	15		15	2	1	
4	43	16		16			
5	44	15		15	1	1	
6	45	15		15	1		
7	46	16		16		1	
8	47	15		15		1	
9	48	15		15			
10	49	15		15	2		
11	50	14	1	13		1	
12	51	12		12			
13	52	19		19		1	
14	53	20		20			
15	54	21		21			
16	55	24		24			
17	56	27	1	26	1	1	
18	57	30		30	1		
19	58	28		28			
20	59	30	1	29	1	1	
21	60	35		35			
22	61	35		35	1	1	
23	62	35		35	1		
24	63	38	1	37	1		
25	平成 01	35		35			
26	02	35		35	1		
27	03	35		35			
28	04	35	2	33	1		
29	05	48		48	1	1	
30	06	46	1	45		2	
31	07	50	1	49	1	2	
32	08	53	2	51			
33	09	55	3	52			
34	10	51	5	46			
35	11	71	1	70	2	1	
36	12	102	3	99	1	1	
37	13	152	5	147	1	3	
38	14	155	8	147		3	
39	15	160	5	155	3	1	
40	16	161	7	154		2	3
41	17	161	9	152	5	5	6
42	18	164	11	153	3	6	55
43	19	161	11	150	0	4	89
44	20	160	8	152	0	1	131
45	21	106	6	100	1	1	100
合計		2516	92	2424	36	45	384

平成 21 年度の貸与者  
採用年度別

注；途中辞退者・退学者(飛び級含む)は採用年度基準で記載